

与論島の活性について考える

農学部 生物環境学科 3413230471 古川あずさ

今回私は生まれて初めて、与論島に行った。残念ながら、台風の関係で後半はほとんど予定がつぶれてしまった。そのため、与論島のすべてを見てくることはできなかった。なので、私は与論島を十分に楽しむことができたとは言えない。しかし、与論島にはまた行きたいと思った。何故かという、民俗村などの海以外の与論島の観光名所に行っていないからだ。さらに海がきれいで、一日中海水浴をしたいと思った。一つ残念だと思ったのは、与論島の街自体に活気が見られなかったことだろう。利用者が少ないからかやはり、店舗の数が少なく、シャッターを下ろしてしまっている店舗の数が多印象を受けた。そこで、私は与論島の活性のために、二つのことを考えた。一つは、与論島のことを宣伝する場所を増やすということ、もう一つはベストシーズン以外の集客も考えるということである。

現在インターネットには、多数の動画投稿サイトがある。それらのサイトに与論島についてのイメージ映像やコマーシャルをアップしてみるのはどうだろうか。旅行や観光を考える人がインターネットを用いて旅行先について調べたとき検索結果に与論島の名前を出すのである。特に動画は映像を見せることができるので言葉では伝わらない与論島の雰囲気を見せることができ、多くの人から興味を持ってもらえる可能性がある。また、与論島についての漫画や絵本などを出すことにより、子供たちの興味を引くことはできないだろうか。漫画や絵本で与論島についての魅力や文化を発信することにより、子供たちのあこがれの場所や行ってみたい場所として与論島を印象付けることができるのではないかと思う。

与論島だけでなく南の離島は総じて夏に旅行をする人が多いが、夏以外にも楽しめる季節のあるとほかの島と差をつけることができるのではと思う。ベストシーズンである七月から九月までは旅行をするのにはよい時期である。しかし、台風が近づいたり、フェリーが出航、着岸ができないほど海が荒れてしまうとせっかく立てた旅行の予定がつぶれてしまうこともある。ベストシーズン以外の時期ではこういうアクシデントはあまりないというメリットがある。シーズン以外で私が注目したのは、与論島で三月にあるマラソンである、参加者は例年満員に近く人気のあるイベントだと聞いている。この時期にマラソンとセットで別のイベントをするとよいと思う。例えば、三月を超えると花が見ごろを迎える、花とマラソンをセットで宣伝していくとよいのではないだろうか。マラソンだけでなくウォーキングしながら花を見て回るイベントなどがあれば、面白そうである。これは真夏で

はないので、暑すぎず、快適に花見をすることができ、よいのではないだろうか。ウォーキングを取り入れることでマラソンに参加することができない人々もこの時期に与論島を楽しむことができるだろう。

最後に、与論島にはまだ伝えきれていない魅力的な歴史、文化、風景があると思う。それを発信する場所を考えると、このレポートは参考程度に見てもらえれば、私は嬉しい。

読んだ本 与論島—琉球の原風景が残る島

著者 高橋誠一 竹森窪